

血液がん新薬 米で販売許可

武田、次の柱に育成

Nikkei Business

目録 ひもとぎ

武田薬品工業は血液がんの新薬「イキサゾミブ」

の販売許可を米食品医薬品局（FDA）から取得した。想定していた審査完了日より4カ月早いスピード承認となった。

武田は同じ血液がんの主力薬「ベルケイド」を持つが、2017年末までに特許が切れる。早期承認を受け、イキサゾミブを売上高が1000億円を超える次の主力薬として育成する考えだ。

イキサゾミブは再発を繰り返す多発性骨髄腫の治療薬で、08年に買収した米ミレニアム・ファーマシューティカルズが開発した。現在の主力薬のベルケイドは通院が必要

な注射薬だが、イキサゾミブは週1回服用するカプセル薬のため、より使

武田は今年7月にイキサゾミブの販売許可を申請し、米FDAから優先審査指定を受けていた。

欧州でも8月に申請済みで、迅速審査指定の対象になっている。

ベルケイドは同じ米ミレニアムが開発、14年度の世界売上高は1527億円と、武田にとって最大の製品だ。米国では武田が、米国以外では提携先のジョンソン・エンド

・ジョンソン（J&J）がそれぞれ販売している。

イキサゾミブについては、販売許可を取得し

た後に武田が単独販売する方針だ。（北沢宏之）